

三浦市は、2020年5月に2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す「ゼロカーボンシティみうら」を宣言しました。
この通信では、「ゼロカーボンシティ」を目指して地球温暖化・省エネ・再エネに関するトピックなどをお知らせします。

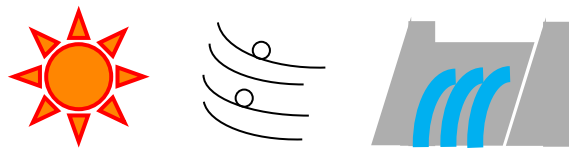
前号のおさらい

- ・CO2の排出を減らすには...節電以外にも公共交通機関の利用やエコドライブ
- ・CO2排出量は、バスが乗用車の55%程度、鉄道は乗用車の15%程度
- ・乗用車でもふんわりアクセル「eスタート」などのエコドライブで燃費改善
- ・さらに排出を減らすには？



再生可能エネルギーの活用

- ・再生可能エネルギーとは？
化石燃料（石油・石炭・天然ガスなど）以外のエネルギー源のうち、エネルギー源として持続的に利用することができるもので、太陽光・風力・水力などのことを指します。
再生可能エネルギーを活用することで、温室効果ガスの排出量を削減することができます。
市民の皆さんが再生可能エネルギーを活用する場合、現時点で最も導入しやすいのは、建物の屋根などにも設置できる、太陽光発電です。



太陽光発電導入について

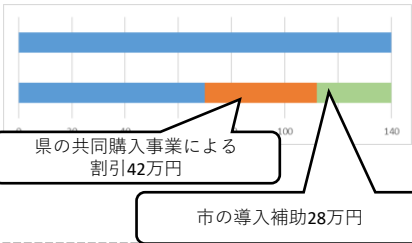
太陽光発電の導入には、以下のメリット・デメリットがあります。

メリット	デメリット
・温室効果ガス排出削減により、地球環境に貢献 ・自家消費することで、電気代節約 ・災害や停電時でも非常用電源に（蓄電池も導入すれば夜間でも活用できます。）	・発電量が天候に左右される ・定期的なメンテナンスが必要 ・設置費用が高額

今年度から三浦市でも太陽光パネルと蓄電池（パネルと同時設置の場合に限ります。）の導入補助を、市民・中小事業者向けに開始しています。また、神奈川県の実用補助事業を併用することができるため、「設置費用が高額」というデメリットを軽減できます。
この機会に住宅や事務所などに太陽光発電設備の導入を考えてみませんか？
市のホームページに詳しい情報を掲載中です。

<https://www.city.miura.kanagawa.jp/soshiki/kankyoka/syouenedatutanso/11223.html>

※導入補助を受けるにはそれぞれの要件を満たす必要があります。
※各事業は予算がなくなり次第、受付を終了します。



左のグラフは、住宅に4kWの太陽光パネル（蓄電池なし）を設置するとき、神奈川県の実用補助事業と市の導入補助を併用した場合の費用イメージです。市場価格140万円に対し、共同購入により42万円、市の補助により28万円お得になる可能性があります。【市場価格、共同購入による割引は令和6年度実績を元にしており、今年度、同等以上の割引が保証されるものではありません。】

